

平成24年7月6日

各 位

第一交通産業株式会社
代表取締役 田中亮一郎

宮城地区のタクシーにクレジット、銀聯カード決済端末を導入

当社グループは、日本ポストック株式会社(本社：東京都新宿区、社長：森 清一、以下：日本ポストック)及び三井住友カード株式会社(本社：東京都港区、社長：島田秀男、以下：三井住友カード)の協力により、クレジットカード及び銀聯(ぎんれん)カード決済サービスを、宮城県内4社(335台)のタクシーにて、平成24年7月9日より開始いたします。

宮城県を含む東北3県は、平成24年7月よりマルチビザ発給対象地区となり、今後ますます中国観光客が増える見込みです。

第一交通産業グループの宮城地区では、銀聯カードに対応することによって、今後増加が見込まれる中国人観光客に対応できるというメリットがあります。

日本ポストックは「機能も価格もスマートに」を掲げ、平成23年2月より従来製品の半額相当の低価格なモバイル型クレジットカード端末を販売開始し、平成23年11月には三井住友カードと協力し、銀聯カードの取り扱いも開始致しました。現在では、全国のタクシー、飲食店、訪問販売、イベント会場、宿泊施設などを中心として、約150法人が導入しております。

導入端末



中国銀聯は、平成14年に中国の中央銀行である中国人民銀行が中心となり、政府主導で設立された中国での銀行間決済ネットワーク運営会社であり、主に中国の金融機関200以上が銀聯ネットワークに参加しています。中国国内で発行されているほぼ全てのキャッシュカードに銀聯ブランドが付与されており、約31.5億枚が発行されています(平成24年3月末時点)。海外の銀行・カード会社とも積極的な提携を行い、平成17年12月には三井住友カードとの業務提携により、日本においても銀聯カードが利用可能となりました。平成24年3月時点での三井住友カードとの提携による加盟店数は、約29,000店舗にまで広がっています。



以 上

問合せ先 総務部広報担当
TEL 093-511-8811